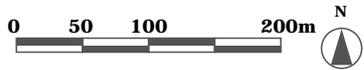
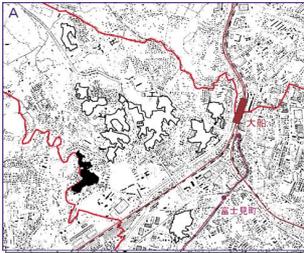


貞宗寺

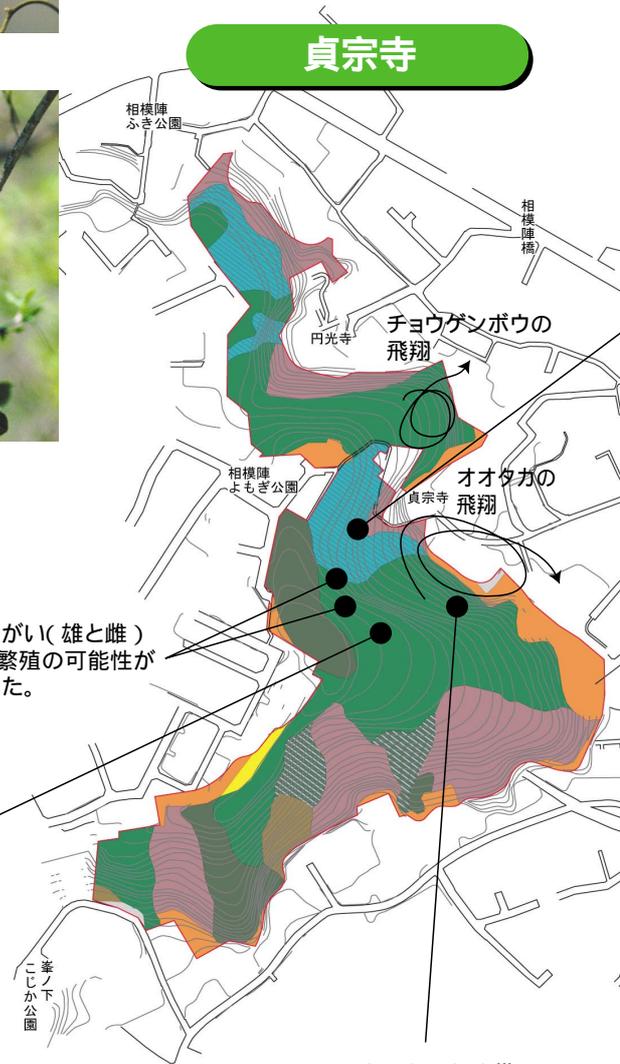
- A 常緑広葉樹自然林
- C 溪谷生落葉樹自然林
- E 常緑・落葉樹混生二次林
- G 落葉広葉樹二次林
- I 林縁生低木-ツル植物
- J1 乾性草地
- L1 竹林
- L2 針葉樹植林
- M 人工地



ウグイス



ヤマガラ



フクロウのつがい(雄と雌)が確認され、繁殖の可能性が推察されました。

タヌキのため糞



ミズキ群落

ニガキ、ミズキなど多くの種類の樹木の混ざった二次林です。キチジョウソウ、アスカイノデなどの植物が生育していて、将来はタブノキ林に変わっていくと推察されました。



モンシロチョウ



イロハモミジ-ケヤキ群集

ムクノキ-ケヤキ林です。ケヤキ林としては高くはない(20mぐらい)ですが、林床のアオキ、ヤブツバキ、シロダモ、イヌガヤなどの生育は、この林の自然度が高いことを示しています。



ニホンミツバチ



シロハラ



キジバト



キイロスズメバチ

貞宗寺

調査確認種数

植物：46科88種

動物

哺乳類：モグラ、タヌキ他 3科3種

鳥類：オオタカ、チョウゲンボウ、フクロウ他
17科26種

昆虫類：44科84種

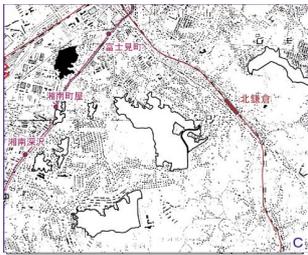
特記事項

貞宗寺では、複数の猛禽類の飛翔が確認されました。あまり大きな緑地ではありませんが、鳥類にとって比較的良好な自然環境が維持されているものと考えられます。

フクロウのつがいが、繁殖期に確認され、繁殖の可能性が推察されます。

天神山

- A 常緑広葉樹自然林
- E 常緑・落葉樹混生二次林
- G 落葉広葉樹二次林
- I 林縁生低木-ツル植物
- J2 畑耕作地
- L1 竹林
- L2 針葉樹植林
- L3 果樹園
- L4 緑化地
- M 人工地



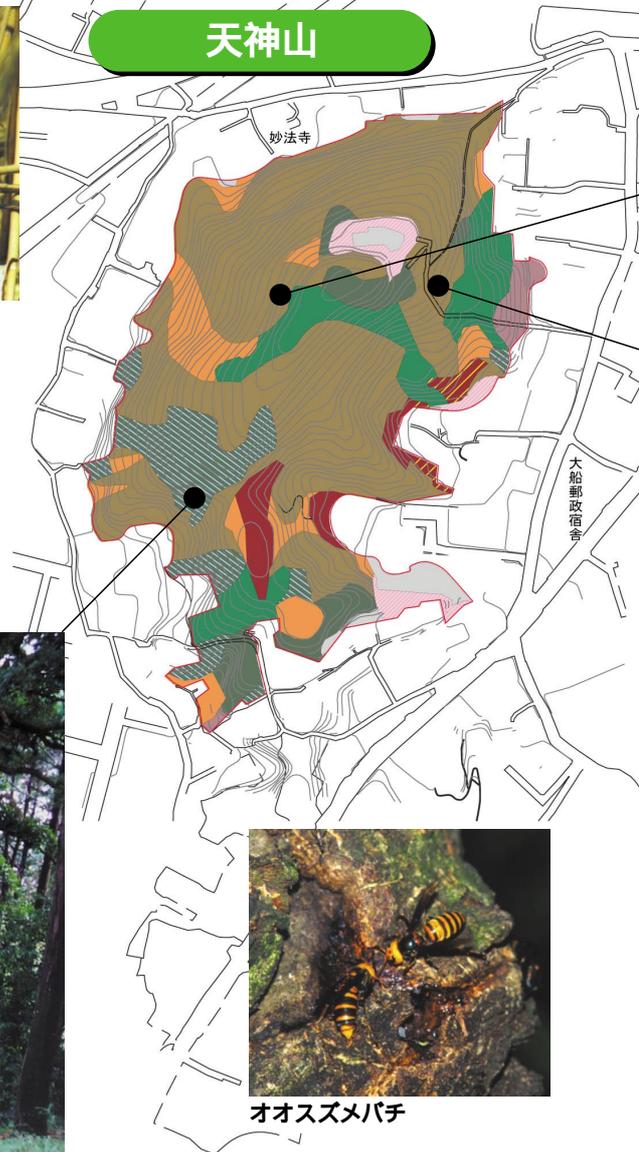
モグラの塚

モグラ類は、地中にトンネルを掘って生活していますが、トンネルを掘る際にでる残土を土表に盛り上げることが多く、モグラ塚と呼ばれています。



シジュウカラ

天神山



オオスズメバチ



スダジイ-コナラ群落

南西向きに乾いた斜面に生育している二次林で、コナラ、ヒノキ、スダジイなどの多くの種類の木が混ざって、林を形成しています。

林床にはテイカカズラなど日陰に強い植物が生育しています。



スズメ



アカメガシワ-カラスザンショウ群落

林が伐採された跡にできた二次林です。種子が鳥に運ばれた先で芽を出すカラスザンショウやエノキなどが散生し、林の下はアズマネザサやツル植物が茂っています。



アブラゼミ



ヒノキ植林

神社の参道沿いに生育するヒノキ林です。林の中はよく手入れがされていて見通しが良く、地表には50種もの植物が生育しています。



ヒヨドリ

天神山

調査確認種数

植物：63科126種

動物

哺乳類：モグラ他 2科2種

鳥類：16科20種

爬虫類：トカゲ、カナヘビ 2科2種

両生類：アマガエル 1科1種

昆虫類：56科115種

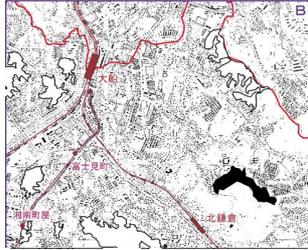
特記事項

天神山は、丘陵部分が島状に残された緑地で、確認種はあまり多くありません。

面積が比較的に大きく、市民の話では、渡り鳥の中継緑地として使われているとのことで、動物の移動経路として重要です。

六国見山森林公園

- A 常緑広葉樹自然林
- G 落葉広葉樹二次林
- I 林縁生低木-ツル植物
- L2 針葉樹植林
- L4 緑化地



六国見山森林公園

県立大船高等学校

市立今泉小学校

今泉公園

六国見



ヒメマイマイカブリ



モズ



スギ植林

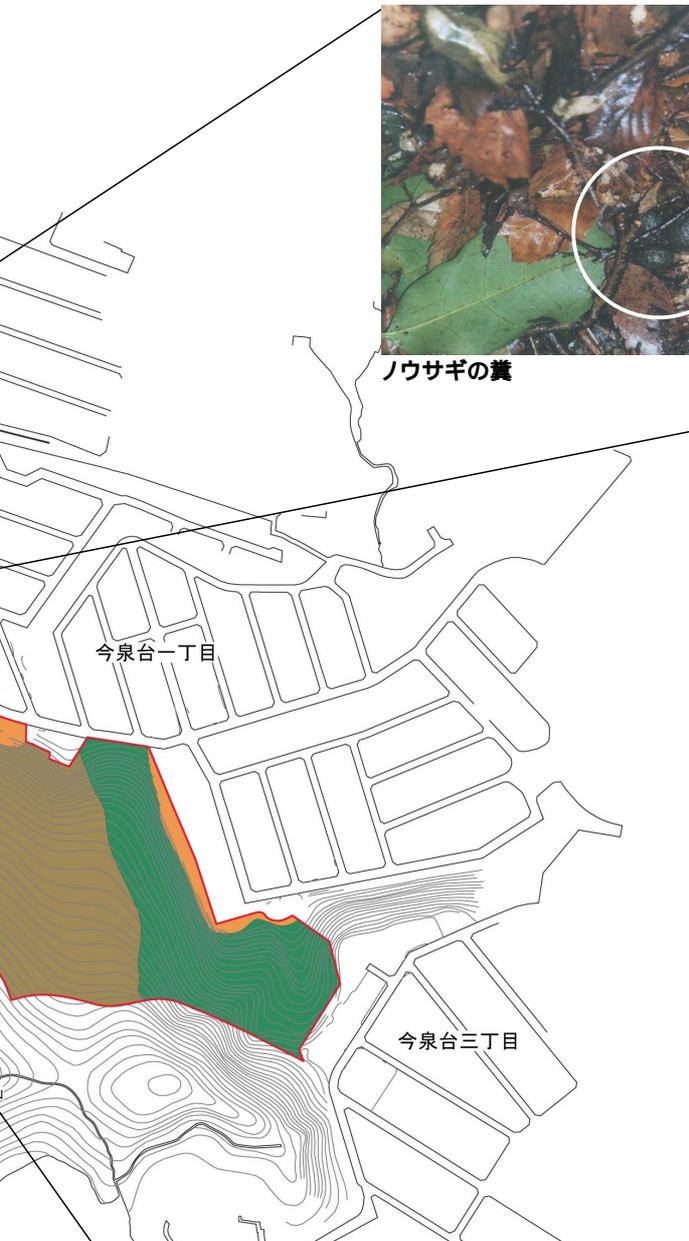
材木をとるために植えられました。良く管理されていて、林の中は明るく、60種以上の植物が生育しています。



エナガ



モグラの塚



ノウサギの糞



シメ



造成斜面の植栽地

造成した斜面にシナダレスズメガヤなどの外国の牧草の種をまいて草原を作り、そこにピラカンサなどの庭木を植えています。まわりの林から、ミズキやイヌシデなどが入ってきています。



オニシバリ-コナラ群集

イヌシデ、ヤマザクラ、コナラなどが混ざって生育しており、植生遷移の進んだ林で、林床にはアオキ、アズマネザサ、ムラサキシキブ等が茂っています。

六国見山森林公園

調査確認種数

植物：65科145種

動物

哺乳類：モグラ、ノウサギ、アカネズミ他 4科4種

鳥類：15科22種

爬虫類：トカゲ、カナヘビ 2科2種

昆虫類：51科131種

特記事項

六国見山森林公園の北側は住宅地となっており、急な斜面には植木類が植栽されています。

西側、南側の緑地は割合広く、緑地が連続していますので、中型哺乳類のノウサギが生息しています。

公園の西側・南側は今回の調査の対象外ですが、地元市民の話では野草の種類は多いそうです。

また市民の観察によれば、六国見山周辺は、秋期、タカの渡りの重要な休息所となっています。